

令和 8 年 上半期

(令和 8 年 1 月～令和 8 年 6 月)

火 災 ・ 救 急 ・ 救 助 の 概 況

岡 崎 市 消 防 本 部

火 災 の 概 況

1 火災発生状況

令和8年上半期（1月～6月）の岡崎市における火災概況は出火件数66件、火災による焼損面積は建物2,767㎡、林野236a、損害額は2億6,221万2千円、死者は2人、負傷者は11人であった。出火件数66件を火災種別ごとにみると、建物火災が32件（49%）と最も多く、以下その他の火災21件（32%）、車両火災10件（15%）、林野火災3件（4%）順となっている。（第1表）

【上半期の火災発生状況表】 (第1表)

区 分 種 別		令和8年 (A)	令和7年 (B)	比 較 (A)－(B)	過去10年平均 (C)	比 較 (A)－(C)
出火件数（件）		66	47	19	55	11
火 災 種 別	建物火災	32	27	5	28	4
	林野火災	3	1	2	2	1
	車両火災	10	6	4	7	3
	その他の火災	21	13	8	18	3
焼 損 面 積	建物(㎡)	2,767	1,220	1547	1,148	1619
	林野(a)	236	2	234	36	200
損 害 額（千 円）		262,212	147,308	114,904	123,370	138,842
死傷者 (人)	死 者	2	1	1	2	0
	負 傷 者	11	1	10	9	2

備考 △印は減を示す。

2 損害額

火災による損害額 2 億 6,221 万 2 千円の内訳をみると、最も多いのは建物損害の 2 億 3,192 万 8 千円で全損害の 88.5% を占め、以下その他の損害の 2,381 万 2 千円、車両の損害の 647 万 2 千円の順となっている。（第 2 表）

損害額 2 億 6,221 万 2 千円は、前年の 1 億 4,730 万 8 千円と比較すると 1 億 1,490 万 4 千円の上昇であり、過去 10 年平均の 1 億 2,337 万円より 1 億 3,884 万 2 千円上回っている。（第 1 表）

【損害額の内訳】 (第 2 表)

種 別	区 分	損害額	
		(千円)	比 率 (%)
建 物		231,928	88.5
林 野		0	0.0
車 両		6,472	2.5
そ の 他		23,812	9.0
合 計		262,212	100.0

3 出火原因

出火件数 66 件の主な出火原因をみると、「放火・放火の疑い」が 11 件（17%）と最も多く、以下「たばこ」が 8 件（12%）、「たき火」が 7 件（11%）、「火あそび」が 3 件（5%）、「電気機器」が 3 件（5%）、「こんろ」が 2 件（3%）となっており、これらで全体の約 5 割を占めている。（第 3 表）

【主な出火原因別件数】 (第 3 表)

種 別	区 分	令和 8 年 (件)	令和 7 年 (件)	比較 (件)
放火・放火の疑い		11	8	3
た き 火		7	1	6
た ば こ		8	9	△ 1
こ ん ろ		2	3	△ 1
火 あ そ び		3	0	3
電 気 機 器		3	4	△ 1
ス ト ー ブ		0	2	△ 2
そ の 他		32	20	12
合 計		66	47	19

備考 △印は減を示す。

救 急 の 概 況

令和8年上半期（1月～6月）の救急出場件数は9,169件で、搬送人員は8,551人であった。前年と比較すると、出場件数では70件、搬送人員では18人減少している。

内訳では、急病が6,343件（69.1％）で全体の約7割を占め、続いて一般負傷が1,239件（13.5％）、交通事故が481件（5.2％）であった。（第1表）

【上半期の救急出場状況表】

（第1表）

区 分 種 別		令 和 8 年 (A)	令 和 7 年 (B)	比 較 (A)－(B)	過去10年平均 (C)	比 較 (A)－(C)
救 急 出 場 件 数		9,169	9,239	△ 70	8,138	1,031
搬 送 人 員		8,551	8,569	△ 18	7,508	1,043
救 急 出 場 種 別 内 訳	火 災	17	21	△ 4	22	△ 5
	自 然 災 害	0	0	0	1	△ 1
	水 難 事 故	2	1	1	1	1
	交 通 事 故	481	510	△ 29	536	△ 55
	労 働 災 害	63	63	0	69	△ 6
	運 動 競 技	42	44	△ 2	38	4
	一 般 負 傷	1,239	1,208	31	1,070	169
	加 害	23	11	12	22	1
	自 損 行 為	124	103	21	89	35
	急 病	6,343	6,473	△ 130	5,537	806
	そ の 他	835	805	30	753	82

備考 △印は、減を示す。

月別救急出場件数・搬送人員

月別救急出場件数は、1月が1,736件と最も多く、4月が1,391件と最も少なかった。1日平均51件となっており、28.2分に1件の割合で出場したことになる。（第2表）

搬送人員でも、1月が1,637人と最も多く、4月が1,289人と最も少なかった。（第3表）

【上半期の月別救急出場件数】

（第2表）

種別 月別	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				合 計
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 輸 送	そ の 他	
1月	3			68	7	4	245	3	13	1,239	141			13	1,736
2月	4			76	13	6	202	7	38	1,079	114			14	1,553
3月	2			83	12	8	216	5	17	1,078	104			27	1,552
4月	2			90	12	5	196	4	22	938	97			25	1,391
5月	2		2	85	7	11	182	2	15	1,004	118			28	1,456
6月	4			79	12	8	198	2	19	1,005	135			19	1,481
合計	17		2	481	63	42	1,239	23	124	6,343	709			126	9,169

【上半期の月別搬送人員】

（第3表）

種別 月別	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				合 計
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 輸 送	そ の 他	
1月	2			66	7	4	232	3	8	1,174	141				1,637
2月				70	13	6	193	6	34	1,016	113			1	1,452
3月				80	11	8	202	5	14	1,010	104				1,434
4月				87	12	5	183	3	19	884	96				1,289
5月	2			80	5	11	175	2	13	946	118				1,352
6月	5			75	12	8	182	2	15	953	135				1,387
合計	9			458	60	42	1,167	21	103	5,983	707			1	8,551

救 助 の 概 況

令和 8 年上半期（1 ～ 6 月）の救助出動件数は134件で、救助人員は77人、事故種別で見るとその他の事故が最も多く53件、以下建物等による事故、交通事故の順となっている。

前年と比較すると、出動件数は28件の増加、救助人員は34人の増加であった。
(第 1 表)

【上半期の救助出動状況表】

(第 1 表)

比 較 種 別			令和 8 年 (A)	令和 7 年 (B)	比 較 (A) - (B)
救 助 出 動 件 数			134	106	28
救 助 人 員			77	43	34
種 別 内 訳	火 災	建 物	1	4	△ 3
		建 物 以 外			
	交 通 事 故		25	20	5
	水 難 事 故		2	1	1
	風水害等自然災害事故				
	機 械 に よ る 事 故		3	1	2
	建 物 等 に よ る 事 故		49	48	1
	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故		1	4	△ 3
	破 裂 事 故				
	そ の 他 の 事 故		53	28	25

備考 △印は減を示す。